

## ポルトガルツアーで 女性団体、労組と交流

### 「署名を集め、核兵器禁止条約加入を政府に求めます！」

婦団連ツアー参加者は10月31日、リスボンにあるポルトガル民主女性運動(MDM)の事務所を訪れ、交流しました。MDMは50年前、独裁政権時代に創立され、政治的な自由を求めて運動してきた団体で、国際民主婦人連盟(WIDF)の執行委員を務めています。

1974年、植民地解放と独裁政権ノを訴えたカーネーション革命が成功する中で、女性たちもデモを行い、自由を獲得し、ポルトガルが「女性と男性が同等の権利を有する公正な社会である」ことを憲法に明記させました。

交流では、MDM国際担当のレジーナ・マルケスさんがその場でヒバクシャ国際署名に署名し、団体でも署名にとりくむことを約束。後日、ポルトガル政府に条約への加入を要請したというメールが届きました。

全労連と関係の深いポルトガル労働総同盟(CGTP-IN)も訪問し、職業訓練校を視察し、元気な高校1年生と交流しました。(詳細は『婦人通信』2018年1月号に)



### ▼女性差別撤廃条約実施状況のフォローアップ 2018年3月

2016年の条約実施状況の審議でたくさんの勧告を受けた日本。とくに重要・緊急課題とされた選択的夫婦別姓などの民法改正等の追加報告提出期限が来年3月に迫っています。

婦団連は野田聖子男女共同参画担当大臣、上川陽子法務大臣に、あらためて民法改正を求める要望をしました。

### ▼日本の人権状況審査(UPR) 2017.11

国連人権理事会で日本の人権状況の定期審査が行われました。106カ国から218の勧告が出され、主な内容は死刑廃止、個人通報制度等の選択議定書批准、「慰安婦」問題、原発事故被災者問題など。女性、LGBT、マイノリティ差別解消を求める勧告は60以上。

### ▼『女性白書2017 社会保障と女性の人権』

林陽子、日野秀逸、山家悠紀夫 ほか  
欧州諸国、韓国の社会保障の状況  
各分野の最新資料・統計 3200円+税

### ▼GGI(ジェンダー格差指数)2017年 日本の順位はまたもダウン 114位

日本のGGI(世界経済フォーラム2017年11月発表)は144カ国中114位と、昨年度(144カ国中111位)よりさらに後退。

### ▼2018年国際女性デー中央大会

3月8日(木) 18:30~品川きゅりあん  
講演 フォトジャーナリスト・安田菜津紀さん

### 国際カンパのお願い

婦団連は、戦争も核兵器もない世界、国連憲章に基づく平和秩序、男女平等をめざし、国際民婦連の執行委員として活動しています。

新自由主義経済と軍事化路線からの転換をはかり、アジアと世界の平和を築くため、国際連帯活動はますます重要です。

婦団連の国際活動は皆様のカンパで支えられています。日頃のご支援に感謝申し上げますとともに、今回もご協力をよろしくお願いいたします。

振込先・日本婦人団体連合会

郵便振替 00160-4-59402